

ハロー！ミュージアム「出前イベント：実施レポート」

団体名：笠間市立穴戸小学校

対象：4～6学年

期日：2011年1月18日（火）11:35～12:20

場所：笠間市立穴戸小学校

目的：映像を見たり，美術館の職員とやりとりをしたりすることを通して美術作品に親しむとともに地元ゆかりの人物について知る。



(上映内容)

・「プロローグ」

インタビューをまじえ気持ちについて考えてみよう。

・「茨城の風景」

茨城県の風景をテーマにした作品を紹介。

・「茨城の作家【日本画の大家】木村武山」

木村武山の人物紹介と作品を紹介。

・「人物画の魅力」

動きのある人物やその表情をとらえた作品を紹介。

・「人物を描く」

ルノワール，中村彝他，男女の肖像画を紹介。

・「エピローグ」

茨城県近代美術館の紹介。

(活動記録)

先生方からの要望もあり，日本画家，木村武山の人物と作品を紹介する番組をプログラムの中心として構成した。児童たちは，木村武山が地元笠間の出身の作家であるということすでに学習しており，身近な存在として親しみを持って鑑賞することができたようだ。

特に4年生は，県版の副読本「輝く茨城の先人達」で茨城ゆかりの人物を学習したばかりで，木村武山と関係の深い水戸出身の日本画家，横山大観について話が及ぶと，さらに興味深そうに耳を傾ける姿が見られた。ハロー！ミュージアムは今回の活動のように，茨城ゆかりの作家の作品などをうまく取り上げることにより，図工の鑑賞活動と併せて，他の教科や領域の発展的な学習とすることもできる。芸術作品と親しむとともに合科的な活動として，各学校で工夫して取り入れてもらえれば幸いである。